

輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	釧路川「渡し舟」委員会
事業名	釧路ゆめこい渡し10周年記念 「渡し舟と幣舞橋周辺クルーズ」
課題テーマ	地域活性化・渡し舟漕ぎ手の育成と伝統の継承
事業提案の背景	釧路川下流に手漕ぎの渡し舟があった。その復活を市民で始め10年。高齢化も、若手後継の育成で事業継続できたが人数不足のため今後とも育成が望まれる。手漕ぎの渡し舟を今後も継続させ、釧路の観光需要に応じるため。
事業目的	釧路のシンボル、釧路川に親水感を与える「渡し舟」、幣舞橋周辺観光に新サポートを！ 釧路川の風物詩に因る。
事業概要	檣・櫂の手漕ぎ和船による「渡し舟」を仕立、MMO前岸壁から幣舞橋を一周して戻る。「幣舞橋余話」の葉を作成、舟頭役が周辺ガイド、幣舞橋&周辺観光価値を再発見する。手漕ぎ渡し舟の幣舞橋周辺クルーズの運行を図る。
事業展開	<ul style="list-style-type: none"> * 手漕ぎ渡し舟の幣舞橋周辺クルーズ7運行計画 * 新規に大型旅客船入港時の運行。英文案内書作成。 * 長期滞在者に川と橋の歴史と体験乗船を加えた。 * 他団体との協賛運行する。 * 渡し舟10年間の記録作成、新規加入者の確保
成果目標の達成状況	市民のほか、多数の道内外の観光者、国外旅行観光者が乗舟した。手漕ぎ渡し舟の幣舞橋周辺クルーズが図られた。
波及効果の達成状況	大型旅客船、長期滞在者交流、他団体との協賛運行が図られた。新規加入者が有り、次年度以降への事業継続意志が図れた。半被、救命胴衣の補充。和船、台船の小修理も手がけた。
実施体制	釧路川「渡し舟」委員会 会員数42名 会員数の増加は期待以上であった。但し10年記念の運行での協力会員であり、次年度以降も継続する会員に期待する。
連携した市担当課	市民協働推進課
連携した市担当課が果たすべき役割	短歌展の会場は市役所ロビーを使用。担当課経由で使用許可を得る必要があります。大型旅客船や長期滞在者、他団体の情報を得るのに大きな役割があります。

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	200,000	釧路市
道交付金	100,000	地域づくり交付金 (北海道)
乗舟料	223,000	乗舟料金
自己資金	107,294	会費
その他	45,310	協賛金 30,000 返済保険料 15,310
合計	675,604	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	68,640	英文チラシ 6,000 幣舞橋余話 32,400 「渡し舟」10年間記録 30,240
消耗品費	212,328	半被版代込 15着 164,376 半被版代無 5着 47,952
消耗品費	72,697	救命胴衣 LJ-1066型 6個 51,710 客用 救命胴衣大 10着小 10着 20,987
振込手数料	2,376	振込手数料 5件 648+432×4件
使用料費	40,000	ユニック車使用代 6回 10,000+ 30,000
使用料費	50,000	警備船和幸丸借用 6回
燃料費	10,828	警備船の燃料費
保険料費	54,375	行事時の保険料 8回分 (但し、悪天候 にて2回中止)
役務費	16,632	半被の洗濯代 7,560、2,646、6,426
通信費	7,090	はがき、切手、FAX料金など
消耗品費	28,764	台舟の修理用ボルトナット、材料など の品、和舟修理 FRP 溶剤
小計	563,730	
対象外経費		
飲食費	83,000	昼食弁当代 6回分
短歌展賞品	18,036	短歌展優秀者表彰賞品提供
事務費	10,838	コピー用紙、インク、名前カード、コ ピーなど
小計	111,874	
合計	675,604	